

【平成20年重大ニュース】

1月3日 「ぜんざい会」

合計27人（名簿記入者のみ）が参集、例年より参加者が少なく残念でした。

男子OBは、県大会出場組の57回塩山・中島・鳥飼君、58回の有家・田上君など戦力が充実。現役を圧倒しっぱなしでした。

参加者から現役に38,000円のお年玉をあげました。

2月10日 福岡市総合選手権

3部所属チームで争う福岡市総合選手権。男子は2回戦で延長戦の末、筑前に71：77で惜敗。主力を怪我で欠く女子も、2回戦で同じく筑前に56：76で敗れました。残念。男女とも、筑前は準優勝でした。

3月23日 筑籠会総会

総会に先立ち、現役との親善試合を行いました。

3月23～25日 合宿（女子）

アクションで実施。筑籠会から2万円の差し入れを行いました。

3月23～26日 合宿（男子）

筑紫丘で実施。筑籠会から5万円の差し入れを行いました。

4月1日 新入生

高27回井出君の末娘が、バスケットボール推薦入学しました。父親譲りの、いやらしいディフェンスが見られるか？期待大です。

4月12～14日 九州大会地区予選

男子は、格下の相手にはG坂本君がスピードで翻弄し、ゴール下でS白土君が頑張る展開で圧勝。しかし、選手層が薄く、実力校が相手では苦しくなります。3回戦の糸島戦はなんとか逆転勝利を収めました。主力に足が攣るアクシデント。4回戦の対東福岡戦は、84：100のスコア以上の敗戦でした。女子はまさかの1回戦敗退です。

4月27日 インターハイ地区予選（男子）

初戦で、高21回中倉監督率いる福岡西陵に敗退、福岡西陵は中部地区5位で県大会出場です。この試合で引退の3年生は号泣でした。

このチームは、途中でコーチのジェフがbjリーグのスタッフに移籍するという恵まれない環境下での戦いでした。その中で、身長わずか156cmのPG坂本君が見せた闘志あふれるプレーは特筆ものでした。

4月27日～5月3日 インターハイ地区予選（女子）

4回戦で福工大城東に、71：85で敗戦。福工大城東は中部地区7位で県大会出場です。惜しくも県大会出場は逃しましたが、個々の力を発揮して良く戦いました。

6月21～29日 ウィンターカップ地区予選（男子）

稲築志耕館・博多・柳川戦を連破し、2次予選に駒を進めました。

6月28～29日 ウィンターカップ地区予選（女子）

3回戦、対双葉は72：77の惜敗、2次予選進出を逃しました。

7月12日 ウィンターカップ2次予選（男子）

初戦で直方に敗退、70：112。直方は県ベスト4に勝ち上がりました。

7月12～13日 シニアバスケットボール九州大会（沖縄糸満市）

那珂川クラブは、今回は2回戦で敗退。二日目は沖縄観光でした。

40歳以上でプレーに興味のあるOBの参加をお待ちしています。全国各地で、おいしいお酒が飲めますよ。

筑籠会からの参加は、23回徳永・29回阿比留・32回堤の3選手です。

8月2～4日 合宿（男子）

男子が筑紫丘で合宿。筑籠会から補助金5万円を贈呈しました。

8月7～10日 合宿（女子）

女子が筑紫丘で合宿。筑籠会から補助金3万円を贈呈しました。

9月15日 壮年大会

「壮年バスケットボール大会」を筑紫丘で開催。これは、筑紫丘・修猷館・福岡・西南・大濠・福翔・香椎・東福岡、近隣8校の35歳以上のOBが、年に一度雌雄を決する一大イベントです。

当初は通常のルールで実施していましたが、近年は高齢プレイヤーの参加もあり、年齢で得点を加算するハンディキャップマッチです。50代は1点、60代は2点、70代以上は3点を加算します。参加選手中で最高齢は、76歳の高3回石川顧問。3ポイントシュートを3本成功させ、なんと計18得点の大活躍、筑紫丘は2連勝でした。

10月18～19日 シニアバスケットボール全国大会（岡山市）

那珂川クラブは、準決勝で宿敵大牟田オールデイズに1ゴール差で惜敗。結果は、優勝が長崎オールドスターズ、大牟田は準優勝、那珂川が3位と九州勢の圧勝でした。

筑籠会からの参加は、23回徳永・織戸・29回阿比留・32回堤の4選手です。

11月3日 新人戦予選

男子は3回戦で春日に76：82で敗戦、女子は2回戦で筑紫中央に62：66の惜敗。共に入れ替え戦に進めませんでした。

12月20日 忘年会

OB・OGが原先生（昭和40年～44年顧問）を囲み、清輔先生、保護者も参加されて総勢28人で歓談しました。